

第1回 新福岡市水道長期ビジョン懇話会 議事要旨

■ 日 時 平成28年2月8日（月）14:00～15:47

■ 場 所 福岡市水道局 本館6階 中会議室

■ 出席者 〔委員〕

池山委員，小出委員，広城委員，前田委員
（欠席：宇野委員，加留部委員，藤田委員）

■ 傍聴者 2名

■ 議事次第

- 1 開会
- 2 委員等紹介
- 3 福岡市水道事業管理者あいさつ
- 4 座長選出
- 5 議事
 - （1）新たな福岡市水道長期ビジョンの策定と今後のスケジュールについて
 - （2）福岡市水道事業の概要等について
- 6 閉会

<配布資料>

- 資料1 新福岡市水道長期ビジョン懇話会委員名簿
- 資料2 新福岡市水道長期ビジョン懇話会設置要綱及び傍聴要領
- 資料3 新たな福岡市水道長期ビジョンの策定について
- 資料4 福岡市水道長期ビジョンの概要について
- 資料5 今後のスケジュールについて
- 資料6 福岡市水道事業の概要及び現状と課題について

第 1 回 新福岡市水道長期ビジョン懇話会 議事要旨

発言者	発言要旨
	1 開会 2 委員等紹介 3 福岡市水道事業管理者あいさつ 4 座長選出 事務局より座長に広城委員を推薦し、了承された。 5 議事 (1) 新たな福岡市水道長期ビジョンの策定と今後のスケジュールについて
事務局	<資料 3～5 を事務局より説明>
委員	環境エネルギー関係の施策を、市で横断的に実施されているようだが、水道局での取り組みを知りたい。
福岡市	水道局では ISO 14000 を取得していた。現在も基本的な取り組みは継続している。また、再生可能エネルギーの活用として小水力発電などにも取り組んでいる。なお、市全体の施策については環境局が行っており、水道局では小水力発電や、CO ₂ の削減などの施策を提案して、総括的に環境局が取りまとめるような体系になっている。
委員	この新水道長期ビジョンに下水道は関係するのか。
福岡市	下水道については、道路下水道局が担当となる。
座長	平成 21 年 2 月に策定された現在の長期ビジョンの時点では、団塊世代の大量退職が大きな問題になったと思うが、今後の人材育成に関して、何か懸念するようなところがあれば知りたい。
福岡市	技術系職員では、特に浄水場の職員が、今後十年程度でかなり退職していく見込みである。また、土木職の職員も年齢層が高く、今後、技術の継承というのは大きな課題だと思っている。
	(2) 福岡市水道事業の概要等について
事務局	<資料 6 を事務局より説明>

第1回 新福岡市水道長期ビジョン懇話会 議事要旨

発言者	発言要旨
委員	先月の寒波では、空家の給水管から漏水する事例が頻発したと聞いている。もし、空家の止水弁を閉めていれば無駄な漏水を減らせたと思うが、福岡市ではそのような取組みは行っているのか。
福岡市	空家であっても、新たな入居者が掃除などですぐに水道を使えるように、止水弁は開けたままにしているのが現状である。今回の寒波による空家での漏水を受け、空家の止水弁をどう取扱うのか、今後の課題として受け止めている。
委員	空家については、水道を使用停止してから、一定の期間をおいて水道局が止水弁を閉めるなどの対応ができると思うがどうか。
福岡市	現状では、水道を使用停止して1年後に水道メーターを取り外し、止水弁を閉じている。今後の対応については、新たな入居者の利便性も踏まえて検討していきたい。
座長	この件に関して、他の自治体にも言えることだが、水道局の職員数が徐々に減っていく中、寒波による漏水対応に水道局職員だけで対応するのは困難になりつつあると思う。特に空家の問題については、町内会などで把握しておくことも重要であると思われる。
委員	空家の問題については、漏水だけに留まらないこともあるため、水道局だけでなく他の部局と連携して対応していけば、効率的に問題を解決していけると思われる。
座長	ご指摘のとおりであり、空家の問題については、水道局が関連部局と連携をとり、総合的に空家の対応を考えていくことが今後重要と思われる。
委員	節水型都市づくりの実績の説明の中で、市民の節水意識について尋ねたアンケート結果では、福岡市民の90%が節水意識を持っているとのことであったが、水道局ではどのように節水意識の啓発に取り組んでいるのか。また、この高い節水意識は施策の効果によるものなのか併せて知りたい。
福岡市	過去2度にわたる大渇水を経験した市民については、水を大切に使うという意識が非常に高い。節水意識の啓発としては、イベントや広報を通じて常に市民に節水の呼びかけを行っている。さらに、小学校4年生を対象として、水道事業に関する副読本「水とわたしたち」の配布や、浄水場の見学などを通じて、節水の大切さを伝えており、これらが福岡市民の節水意識の高さにつながっていると考えている。
委員	それにしても市民の90%以上が節水意識を持っているというのは驚異的だと思う。

第1回 新福岡市水道長期ビジョン懇話会 議事要旨

発言者	発言要旨
座長	大学生を対象にアンケート調査を実施したことがあるが、水道料金を節約する目的で節水しているという答えもあり、一言で節水意識といってもいろいろな動機があると思われる。
委員	イベントや広報などで節水を啓発しているとのことだが、イベントでは会場にきた市民にしか啓発できないし、広報では広報紙を細かく見る市民にしか啓発できないと思う。節水意識を高めるために、水道局はどのように市民に伝える努力をしているのか知りたい。
福岡市	全戸を対象とした「水だより」を年3回配付しており、その中で節水を啓発するなど、すべての市民に伝わるよう工夫しているところである。
座長	水道は水が出るのが当たり前という認識があり、普段その大切さに気付かない。今回の寒波により水道へ被害が出たことで、改めて水道の大切さに気付くきっかけになったと思われる。
委員	更新対象管分布図の中には交通量の多い場所があるが、このような場合は夜間工事により、管を更新しているのか。
福岡市	交通量の多い場所では、夜間工事で管の更新を行っている。
委員	配水管の老朽化を示す写真の中に腐食した配水管の写真があるが、老朽管を通して来る水道水の水質は大丈夫なのか。
福岡市	土壌の影響等により部分的には腐食の進んでいる配水管はあるが、給水栓での水質検査をしっかりと実施しており、水質面には影響がないことを確認している。
委員	おいしい水を飲むためにペットボトルの水を買う方が多いと思うが、個人的には水道水はおいしいと感じている。おいしい水道水をもっと飲んでいただくためのPRを積極的に行ってはどうか。
福岡市	水道水はペットボトルの水に比べ千分の1程度の価格であり、また、ペットボトルの水よりも厳しい51項目の水質検査を行っている。水道局としても水道水の良さをもっと伝えていく必要があると思っている。
委員	東京都ではペットボトル入りの水道水を販売しているが、福岡市はどうか。
福岡市	海水淡水化センターで造った水をペットボトルに詰めて販売している。

第1回 新福岡市水道長期ビジョン懇話会 議事要旨

発言者	発言要旨
委員	節水コマをイベントなどで配布していたかと思うが、全ての家庭に節水コマがついているのか。
福岡市	現在では節水レバー付きの水栓も多くあり、節水コマだけでなく、これらを含めるとほとんどの家庭のじゃ口が節水に対応していると思われる。
座長	配水管の寿命について、良い土壌であれば耐用年数が延びるとの説明であったが、土壌の違いによる配水管の寿命への影響について知りたい。
福岡市	一般的に、配水管にとって良い土壌といわれるのは、硫黄分などの腐食性成分が少なく地下水が接触しない土壌であり、配水管が腐食しにくい。逆に悪い土壌といわれるのは、粘土質で地下水が接触したり硫黄分が多かったりする土壌であり、配水管が腐食しやすい。
委員	福岡市の水道事業は、行政区域内で完結しているのか。それとも行政区域を越えた水の供給等を行っているのか。
福岡市	給水区域は福岡市内だけである。ただし、福岡市の水道は市域外に多くの施設を有しており、市域外の水源から水道原水を取水したり、市域外の浄水場から水を福岡市に送水するなどしている。
座長	6 閉会 今回の会議で、新たな水道長期ビジョンの策定に向けた取組みの考え方、現在の水道長期ビジョンの概要、水道事業の現状と課題について、委員の間で意識が共有できたと思う。 以上で、第1回 新福岡市水道長期ビジョン懇話会を終了する。